

恵庭市長定例記者会見（R2. 6. 24）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第2回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加議案4件を含む21件の議案について審議いただきました。

その主なものといたしまして、「令和2年度一般会計補正予算」などがありましたが、その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

まず1点目は、「新型コロナウイルス感染症への対応」についてであります。

本市におきましては、2月21日に「恵庭市新型コロナウイルス予防対策連絡会議」を設置し、4月8日からは「恵庭市新型コロナウイルス感染症対策本部」に切り替え、対策等の協議を重ねているところでありますが、この間、小中学校の臨時休校や公共施設の休館、市主催イベントの延期や中止、地域経済の冷え込みなど様々な影響を受けております。

市としては、感染防止策はもとより、生活相談窓口の設置、子育て世帯や事業者に対する市独自の経済対策など、様々な支援策を実施し継続的かつ積極的に取り組んでいるところであります。

そのような中、北海道において6月19日から段階的緩和の次のステップに移行したことを受け、恵庭市においても公共施設や各種イベントについて一部緩和したところであり、少しずつではありますが、状況は改善されてきているものと認識しております。

つきましては、これまでも補正予算による感染症防止策や経済対策を実施して参り



ましたが、今議会で、あらためて第 3 弾となる経済対策を含む新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を議決いただきましたので、その主なものについてお知らせします。

まずは、経済対策についてですが、

「地域経済活性化事業」として、市内で使用可能な商品券の発行、テイクアウト代行の推進、小規模事業者支援金の追加措置などの経済支援策を行うこととしております。

次に、医療機関への支援策についてですが、

新型コロナウイルス感染症の疑いのある救急患者を受け入れしている医療機関に対して救急搬送人数に応じた支援金を交付します。また、医療従事者等の感染を防止するために必要となる医療用物資等のかかり増しの費用について助成します。

次に、教育関連への支援策についてですが、

市内の大学など高等教育機関に通学する学生に対する経済支援として、アパートなどの家賃の半額を 3 カ月分補助します。

「学校感染予防対策事業」として、小中学校における感染予防のため、マスク等の物資や換気用サーキュレーターといった備品の購入、また、学校からの課題等の郵便料や修学旅行等のキャンセル費用についての予算を措置しました。

「学校給食臨時休業対策事業」として、臨時休校期間中の学校給食提供事業者への補償金、キャンセルできなかった食材費、調理員等休業手当などの予算も措置しました。

次に、子育て関連への支援策についてですが、

「学童クラブ感染予防対策事業費」として、学童クラブなどの子育て関連事業における感染予防のための物資購入、臨時休校期間中の支援員の賃金等の開設経費、パソコンや複合機等の環境改善のための備品購入などの支援策を実施します。

最後に、その他の対策となりますが、

会議などにおける接触機会を低減する Web 会議システムの導入、生活困窮者自立支援事業費の増額、介護予防事業の一つである「いきいき百歳体操」の動画作成などの「地域支えあい・地域づくり事業」といった対策も行うこととしております。

また、これらの市の単独対策に併せて、国が推進している「GIGA スクール事業」を実施し、小中学校における児童生徒の端末や学校ネットワークの整備を行って参ります。

以上、第２回定例会で議決いただいた新型コロナウイルス感染予防策や経済対策についての取り組みとなります。

現在、北海道内においては未だに新規感染者が発生しており依然として予断を許さない状況にあります。感染拡大防止と地域経済の立て直しに向け、今後はこれらの事業を速やかに実施するとともに、状況によっては更なる対策の検討など、市民生活及び経済活動への支援を引き続き行って参りたいと考えております。

２点目は、「恵庭市特別定額給付金」についてであります。

恵庭市特別定額給付金につきましては、オンライン申請及び郵送申請の方法により申請の受付及び給付を行って参りました。

今後の給付の見込みであります。６月２４日現在では申請済み世帯の約７９％、今月末には申請済み世帯の約９２％の給付が完了する見込みとなっております。市民の皆様には、申請いただいてから給付まで、長期間お待たせしたことにあらためてお詫び申し上げます。

なお、今月中旬以降に申請いただいた分については、おおむね２週間程度で給付できる見込みとなっております。

３点目は、「第５期総合計画 後期基本計画 策定方針」についてであります。

第５期総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の３層で構成されており、令和２年度は、前期基本計画および第２次実施計画の最終年度となることから、本年度中に後期５年間の基本計画および第３次実施計画を策定することとしております。

策定にあたっては、学識経験者、市内団体推薦者、一般公募の１６名からなる総合計画審議会を設置して審議し、その内容を市議会にもその都度報告をしながら策定して参ります。

また、この策定に、広く市民参加を図っていくこととしており、すでに実施した市民意識調査のほか、市民意見交換会やシンポジウムの開催、パブリックコメントを予定しており、ホームページ等を活用した市民意見の募集等も検討しております。

策定スケジュールでは、１２月に完成することとしておりますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、市民意見交換会の延期なども考えられることから、年度末までの期間を十分に活用しながら柔軟に対応して参りたいと考えています。

４点目は、「全国都市緑化北海道フェアについて」であります。

昨年１１月に北海道と共同開催による招致を表明いたしました、全国都市緑化北海道フェアについてであります。今月の８日に第４回目となります基本構想検討委員会を開催し、基本構想について委員の皆様より賛成いただきまして、成案化いたし

ました。

開催時期は令和4年6月下旬から1か月間程度、メイン会場は、現在 整備を進めております「花の拠点」、隣接する河川空間となる「かわまちづくりゾーン」と、国道を挟み向かい側にあります「中島公園」となります。

近日中に、北海道及び都市緑化機構と連名で国土交通大臣へ協議書を提出する予定となっており、同意をいただきますと、フェアの開催が正式決定されます。

フェア開催まで約2年間ではありますが、今年度は基本計画を策定し、実行委員会の立上げを目指して参ります。

以上、4項目について説明させていただきました。

詳細については、各担当からお聞きください。

●質疑応答

「恵庭市特別定額給付金」について

(記者) 給付金の支給はどのくらい遅れているのか？

(市長) ご案内を5月27日から6月1日にかけて全世帯に向けて発送しました。市民からの申請は6月1日に届いておりますが、長い人は3週間程度支給までに時間がかかっている。

(記者) 6月上旬に申請している人の中にもまだ給付金が届いていない人がいるということか？

(市長) そうなります。申請に不備があった人には照会をしているが、非常に多くの申請があったことから照会するまでの時間もかかってしまった。

(保健福祉部長) 6月24日に1万5,400件程度を振り込み予定。約3万3,000世帯へ発送し、22日現在で2万8,000件の申請を受け付けている。

(副市長) 一斉に郵送した申請書が全家庭に届いたのが6月1日。6月1日から申請を受け付けている。早い支給の方には約10日間で支給されているが、6月16日の時点では3,000件弱の支給となっている。10日～2週間で支給されている方もいるが、3週間かかってしまっている人もいる。

(記者) 不備がなくても約3週間を要しているのか？苦情は来ているのか？

(市長) そういうことです。市への電話はたくさんありました。

(保健福祉部長) 6月1日～5日までに申請があった件数が2万1,000件であり、開封するだけでも時間を要してしまった。そのため、庁内の職員を動員して審査体制を強化したところです。

(記者) 他市では二重給付等のトラブルがあったが、恵庭市ではなかったのか？

(保健福祉部長) 現在のところありません。一番危惧していたのが、オンライン申請であり、一人何回も申請できた。そのデータベースを市独自で作成して消し込み作業をしている。５月２７日からの一斉郵送については、住民基本台帳の一般データベースから作成したもので消し込みを行っている。オンライン申請と５月２７日からの一斉郵送の両データベースを突合することで二重給付はなくなります。

「全国都市緑化北海道フェア」について

(記者) 緑化フェアですが、最初の記者会見では６月か７月には決定の発表ができるとのことだったが、遅れているのか？

(市長) 当初も７月くらいに同意いただければという話をしております。恵庭市は協議書ができておりますし、北海道も協議書を準備していると思いますので、併せて国土交通大臣に提出する予定です。

「第５期恵庭市総合計画後期基本計画策定方針」について

(記者) 第５期総合計画の後期基本計画の実施計画を策定するにあたり、市長が優先して取り組みたい施策や課題はありますか？

(市長) 総合計画ですので、様々な分野、事柄について記述されており、全体的なものになると考えている。第２期総合戦略を今年つくりましたので、恵庭市として行いたいと思っていることはそれに沿って事業を進めていくこととなる。それを後期基本計画に組み入れていくと思われる。今回の新型コロナウイルス感染症は医療、福祉、経済、教育など様々な面に影響があったので、これらに対応する環境整備も後期計画には位置づけることになると考えている。今進行中の事業もたくさんあるのでそれを成し遂げることや観光事業の更なる発展に向けた事業展開など、前期では想定していなかったことなども後期計画の中に盛り込んでいきたい。

「新型コロナウイルス感染症対策」について

(記者) 新型コロナウイルス感染症対策の中で、今議会の補正で小規模事業者への追加措置をされたが、事業継続支援金については、予算は同額ということで１９人以下の事業所まで範囲を広げている。しかし、既に給付されている９人以下の小規模事業所には新たな支援金がなく、千歳市では事業者に対して新たに追加２０万円の補正予算を組んでいる。事業者に対して新たな追加支援金を考えているのかについてと必要性について教えていただけたら。

(市長) 事業継続支援金とその前段の緊急支援金という３万円のものを行った。どうして２段階で行ったかということ、どういう経営状況にあるのかという実態を、事業者からの生の声で把握したかったということも一つにはあった。３万円の給付

を行った時には、飲食業・サービス業が大きな打撃を受けて、厳しい状況にあることがわかった。それによって事業継続支援金を創設した。状況を把握し、検証しながら次の手が必要であれば行っていこうと考えている。地域の経済状況をしっかりと把握しながらやっていきたい。商品券事業もこれから考えておりますが、しっかりと時期を見極めながら、効果的な事業となるようにしていきたい。

その他について

（記者）出光興産によるメンテナンス工事の関係について、北海道から石狩管内での作業員の宿泊を避けてほしいとの要請により、千歳市では1万2000泊以上、北広島市では4000泊以上がキャンセルとなったが、恵庭市ではホテルに影響は出ているのか？

（市長）市に対しての要請は特にはない。市内には大きな宿泊施設がないことから、道から事業者に対する働きかけについても伺っていない。